



# くすやま美紀(樟山みき)活動報告

2017, 8, 31 NO. 207

連絡先 荻窪5-15-19-704 電話・FAX 5932-6170  
区議会控室 3312-2111(内)2319

## 杉並区内の都営・区営住宅における現状について 公営住宅の石綿問題 実態把握と対策を

### 最大23万人に被害の恐れも

公営住宅で使用されていた石綿（アスベスト）により、居住者が健康被害を受けていたことが明らかとなり、不安が広がっています。

石綿被害の患者団体が公表したのは、石綿が使われた住宅に住み、被害にあった女性（53）の事例です。女性は、1歳から22歳まで県営住宅に住んでいましたが、住宅の天井には吹付石綿が使用されていました。2015年に急に激しい咳に襲われ、石綿特有の胸膜中皮腫と診断。石綿関連疾患は、ばくろ（石綿にさらされる）から発症までの潜伏期間が非常に長く、20年〜40年後に中皮腫など悪性がんになる危険性があります。

患者団体が公表した調査結果では、32都道府県の公営住宅等、約2万2千戸で石綿が使用されており、最大23万人がばくろのおそれがあると推計されています。

### 区内6カ所該当（判明分） すべて対策工事は実施済み

杉並区内では、6カ所の公営住宅が該当（判明分・詳細は右下表）しており、いずれも既に石綿対策工事は実施されています。しかし、石綿関連疾患は潜伏期間が長いいため、石綿対策工事を実施する以前の居住者も含めた対応が必要です。

### 中皮腫・アスベスト疾患・患者と家族の会等 調査資料から杉並区内の公共住宅を抜粋

#### 吹付石綿を使用していた団地

管理者	団地名	対策年度	使用箇所
東京都	井草三丁目アパート1・2号棟	2006	廊下天井
杉並区	上井草三丁目アパート	2005	住居天井

#### 石綿含有ひる石吹付をを使用用していた団地

管理者	団地名	対策年度	使用箇所
東京都	久我山一丁目アパート2（12）号棟	2010	住居天井
東京都	阿佐谷北三丁目アパート20号棟	2007	住居天井
東京都	阿佐谷北三丁目アパート25号棟	2007	住居天井
東京都	下井草二丁目第2アパート5号棟	2007	住居天井

### 実態把握と情報開示、補償救済を

国は、石綿を使用していた公営住宅の実態を調査し、直ちに情報を開示すべきです。さらに、居住歴があるなど、石綿にさらされた可能性のある方への無料の健康診断や専門病院の紹介、補償救済制度の拡充等の対応が必要です。

石綿被害は被害対象が広範囲にまたがるため、国・都・区の連携した対応が必要です。引き続き、党国会議員団、党東京都議団と共に、対策を求めます。

お困りごと、ご相談は、上記連絡先まで、お気軽にお電話ください

# 区立小学校で使用する道徳教科書を採択

安倍政権の教育改悪により、小学校は来年度、中学校は再来年度から「道徳」が教科化されます。国が道徳の内容を決め、教科書に書いて教えさせ、身に付いたかどうかの中まで評価しようというもので、反対の声が多数あがっています。

## 教育の政治的中立を侵す内容の教科書も

道徳の教科化にあたり、多くの市民や教育団体から強い懸念が示されていたのが、教育の政治的中立を侵す内容の教科書も検定合格していることです。特に教育出版社の教科書は、「国旗・国歌」が他社と比べても異常に大きく偏った取り上げ方をしている、掲載する必然性の無い安倍首相の写真を載せている、安倍首相の肝いりで設置された日本教育再生機構の道徳教育の中心メンバーが監修・編集執筆者に名を連ねている、などの問題が指摘されています。

## 採択教科書は東京書籍「新しい道徳」

そうしたなかで、杉並区では、どの教科書が選ばれるのか注目されていましたが、8月9日（水）に開かれた杉並区教育委員会で、東京書籍の「新しい道徳」が採択されました。教育出版社の教科書は選ばれませんでした。

## 道徳の教科化は憲法に逆行

市民道徳の教育が重要なことはいまでもありません。しかし、それは国家が特定の価値観を押し付けるものではなく、国民一人ひとりが主体的に考え、選び取っていくべきものです。憲法で定める思想・良心の自由を国が侵すことは許されません。

## 納涼のつどい開かれる



7月29日（土）、くすやま地域の党と後援会主催による「納涼のつどい」が開かれ、70名が参加しました。

原田あきら都議、前都議の吉田信夫さん、おさない史子衆議院東京8区予定候補も参加。都議選の奮闘を語り、労をねぎらいました。後援会から、原田都議へは手ぬぐいタオル、吉田さんへはスケッチブックのプレゼントがあり、思わぬサプライズに2人が感激する場面も。「総選挙でも必ず躍進しよう」と決意を固めました。

## 建設中の南伊豆特養を視察

8月21日、日本共産党杉並区議団は、杉並区が静岡県南伊豆町に建設中の特別養護老人ホーム「(仮称)エクレシア南伊豆」を視察しました。

全国初の区域外特養ホームで、用地確保が困難な都市部では特養ホーム不足解消の効果が期待されていますが、車で片道約4時間、電車でも下田駅からタクシーを利用しなければならず、交通アクセスの不便さが指摘されています。

私たちも実際に車で現地に向かいましたが、途中休憩をはきみながら片道5時間かかりました。面会の家族が宿泊できる部屋も用意されますが、頻繁に面会に行くことは簡単ではないと感じました。

オープンは来年3月の予定で、90床のうち杉並区民枠は50床。運営は静岡県の社会福祉法人「梓友会」。

